


フリガナ	ウラヤマ ジュンコ			
アーティスト名/ 団体名	浦山純子			
代表者名/構成人数		活動開始年	1993年	
ジャンル	ピアニスト			
公式ウェブサイト等	www.iunkourayama.com			
プロフィール	<p>桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業後、ポーランド国立ワルシャワショパン音楽院に留学。 1995年ラジヴィーウ国際ピアノコンクール優勝&最優秀ショパン賞(ポーランド)、98年ポリーノ国際ピアノコンクール最高位(イタリア)ほか多数受賞。 96年よりロンドンを拠点とし、名門ウイグモアホールにてデビュー。世界各国でソロリサイタル、コンチェルトから室内楽に至るまで幅広く活動し、2002年にはウラディミール・アシュケナージ指揮フィルハーモニア管弦楽団とグリーグ:ピアノ協奏曲を共演し成功を収め、再びフィルハーモニア管弦楽団に招かれチチェスター音楽祭にて演奏。 05年に帰国、銀座王子ホールでデビュー後、スタインウェイ・ジャパン(株)の“Young Virtuoso Series”のアーティストとしても全国各地でコンサートを行い、国内外にて多彩な企画を展開、教育福祉や災害復興チャリティー活動にも力を入れている。 09年よりスタートさせた旧奏楽堂リサイタルシリーズ「心の旅への誘(いざな)い」は、「奥の細道」から着想された柏木俊夫作曲:『芭蕉の奥の細道による気紛れなパラフレーズ』を取り上げる独創的な企画が注目を集め、リサイタルと連動して発表した本作品の全曲録音CD(VOYAGE ヴォヤージュ)は、その文化・芸術的価値を高く評価されて文化庁芸術祭に選出された。 14年からは浜離宮朝日ホールにて、ショパンとラフマニノフの生涯を追うリサイタルシリーズ「ショパン&ラフマニノフの世界」を開催。第1回に連動して<CONCERTOS コンチェルト>(ショパン:ピアノ協奏曲第1番&ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番、山下一史指揮/仙台フィルハーモニー管弦楽団)をリリースするなど、華々しくコンセプトチャルな企画が好評を博した。 18年からは、前半はピアノソロ、後半は毎回異なるゲストを迎えたアンサンブルという、多彩かつ豪華なリサイタルシリーズ「浦山純子with Friends」をスタート。19年には「浦山純子と行くウィーン! コンサート&ワイナリーの旅」ツアーを開催。 CDはこれまでに、ソニーミュージック/ミュージズ、イギリス・シンフォニカレコードより6枚リリース。浅野繁、奥村洋子、安川加壽子、アンジェイ・ステファンスキ、スラミタ・アロノフスキ各氏に師事。</p>			
現在の活動状況・ 今後の活動予定	国内外での演奏活動、2024年内東京では10/16五反田文化センター音楽ホール、12/14麻布霞町音楽堂にてリサイタルがあります。			
千葉市との関わり	2010年より千葉市在住			
コメント	クラシック音楽をより身近に感じ楽しんでいただけるよう、地元千葉でも積極的な活動を行っていきたくと思います。			
その他特記事項 (最低限必要な 設備・経費など)				

【お問い合わせ】 (公財)千葉市文化振興財団 「アーツステーションちば」 千葉市中央区中央2-5-1

TEL: 043-221-2411

Email: as-chiba@f-cp.jp